



始良市立建昌幼稚園 園だより
笑顔あふれる建幼の子
「いきいき・わくわく・のびのび」



あいさつがつなぐ心！

新学期のスタートから約3か月がたちました。登園してきた子供たちのあいさつから、私も毎朝元気をもらっています。

「おはようございま〜す」と元気よくあいさつができる子、はにかみながら恥ずかしそうにあいさつをする子、先生に促されてあいさつをする子と、その姿はさまざまです。今はそれでよいと思います。あいさつは無理にさせるものではありませんが、小さいうちから少しずつ習慣として身につけていきたい大切なものです。その習慣は、小学校に上がっても、大人になっても続いていくものです。

あいさつは、コミュニケーションの始まりとも言われます。初めて出会う人とも、あいさつから関係が始まります。そして、あいさつは、その人自身の第一印象をつくるとともに、相手に与える印象にも大きく影響します。

園生活の中でも、先生たちはあいさつを大切にしながら、子供たちに丁寧に伝えていきます。「おはようございます」「さようなら」「ありがとう」「ごめんね」といった言葉は、子供どうしや先生と子供が関わり合う中で欠かせない大切なマナーです。幼稚園は集団で生活する場です。みんなが気持ちよく過ごすためには守るべきマナーがあります。登園や降園のあいさつ、何かをしてもらったときの「ありがとう」、友達を悲しい気持ちにさせてしまったり、いやな思いをさせたりしたときに、「ごめんね」と素直に伝えられることも大切です。人の気持ちを想像し、相手の立場に立って考えることは、思いやりや優しさにつながっていきます。相手が困っているときやつらい、悲しいときの気持ちを想像する力は、やさしさを育てていきます。

ところで、ご家庭でも、「あいさつをしなさい」と声をかける場面があるかと思いますが、実際にはなかなか思うようにいかないことも多いのではないのでしょうか。朝、「おはようと言いなさい」と促しても小さな声だったり、もじもじしてしまったり…。「うちの子はなかなかあいさつができなくて」と心配される方もいらっしゃるかもしれません。けれども、それも成長の一つの姿です。言えない日があったり、調子のよい日だけ元気に言えたりしながら、子供たちは少しずつ力をつけていきます。

ご家庭では、ぜひ保護者のみなさんから進んであいさつをしていただき、その姿を見せていただければと思います。例えば、朝起きたときに「おはよう」と声をかける、お迎えのときに「おかえり」と声をかけるなど、日常の中であいさつを交わすことが大切です。また、元気よくあいさつができたときには、「今のあいさつ、気持ちよかったね」と具体的に認めてあげることで、子供たちは自信をもっていきます。逆に、恥ずかしくて言えないときには、「今日はちょっとドキドキしたね」「また明日がんばってみようか」等と温かく受け止めてあげることも大切です。さらに、「ありがとう」「ごめんね」についても、保護者のみなさんが日常の中で自然に使う姿が、子供たちにとって何よりのお手本になります。大人の言葉や態度を通して、子供たちは少しずつ人との関わり方を学んでいきます。

この時期は、あいさつやマナーなどの基本的な習慣を身に付ける大切な時期でもあります。



【7月の目標】

- 夏の自然に親しみ、動植物を観察しながら、その成長や変化に気付く。
- 1学期を振り返り、身の回りのことを自分でできるようになる。



【7月の歌】

- ・ セタさま
- ・ アイスクリーム
- ・ 水遊び
- ・ きらきらぼし

【お知らせ】

※ 各クラスの週報でもお知らせしましたが、マチコミで回答をお願いしている「夏休みのお預かり利用のアンケート」は、利用する・しないに関わらず、**6/19 までに全員回答**をお願いします。回答がない場合は、「利用しない」を選択されたものと判断しますので、ご了承ください。

なお、7月になってから、お預かり期日の最終の確認を実施します。

楽しかった日曜参観日（5/31）

日曜参観日にご参加いただき、ありがとうございました。日曜参観日は、子供たちにとっては、安心感や自信につながり、保護者の皆様にとっては、園での生活や教育への理解を深めていただく大切な機会です。子供たちは少し緊張しながらも、おうちの方に見守られ、とても嬉しそうに過ごしていました。

普段の園生活の中で見せる友達との関わりや活動への取組の様子をご覧いただき、お子さんの新たな一面や成長を感じていただけたのではないのでしょうか。また、親子で一緒に活動する時間を通して、笑顔あふれる温かなひとときとなりました。お父様方には、プールを設置していただき、ありがとうございました。



プール開き・プール遊び（6/8）

プール開きをしました。いよいよプール遊びの季節になりました。水の気持ちよさを楽しみ、体を動かしながら、「できた!」の気持ちを大切にしていきます。また、プール遊びの中では、順番を守ったり、押さないように気をつけたりと、友達との関わりも広がっていきます。準備や着替えを自分でしようとする姿も、生活の力も少しずつ育っていく大切な機会です。園では、一人一人の気持ちや体調に合わせ、無理のない範囲で楽しく活動できるようにしていきます。また、安全に楽しめるよう約束も丁寧に伝えていきます。

ご家庭でも、体調のチェックや持ち物の準備など、ご協力をよろしくお願いいたします。



食材五感体験をしました（6/10）

卵（鶏卵・うずら卵）、野菜（いんげん、ちんげんさい、なす、とうもろこし、しめじ、えのき、ピーマン、豆腐）、肉（牛・豚・鶏）等の食材を手で触れたり、においをかいだり、切ったりするなどの五感を使った体験活動をしました。おそろおそろ肉を触る子供、肉を揉んで感触を楽しんでいる子供、「いい匂い」「つるつるしている」「おいしそう」等、様々な様子が見られました。食べ物への興味や感謝の心を育み、食べることの楽しさを知る大切な食育につながっています。

こうした体験は、食べることの楽しさを知り、健やかな心と体を育てる大切な食育の一つです。

ご家庭でも、「今日はどうなにおいがした?」「どんな味だった?」など、お子さんと食べ物について会話を楽しんでいただければと思います。



代掻き・田植え・カレー作り（食育活動）

初夏の田んぼで、子供たちは代掻きや田植えを体験しました。泥の感触を楽しみながら苗を植え、「大きくなあれ」と声をかける姿に、命を大切にする気持ちの芽生えが感じられました。

カレー作りでは、食べ物を「いただく」ことへの喜びや感謝の気持ちも深まっています。こうした体験を通して、自然の恵みや命の大切さを実感させ、心豊かな子供たちに育ってほしいことを願っています。単なる体験に終わらせるのではなく、子供たち一人一人の気づきや感動を大切にしながら、今後も保育を進めていきたいと思います。



と思います。

